

週報

「招詞」

主は天から人の子らを見渡し、探される
目覚めた人、神を求める人はいないか、と。



だれもかれも背き去った。皆ともに、汚れている。
善を行う者はいない。ひとりもない。

詩編十四編二〜三

那須キリスト教会

栃木県那須郡那須町大字寺子丙 1-158

牧師 吉村朝雄

〒329-3222 Tel 0287-72-5455

①



②



① ホームページ : <https://nasu-kirisuto.kyokai.jp>

② 礼拝ライブ配信 : <https://youtu.be/-dd-OsP4quM>

三位一体第 16 主日礼拝

2020 年 9 月 20 日

司会：塚原 恵子姉

奏楽：吉村 直美姉

前 奏	
招 詞	詩編14編 2～3 (旧 P844)
頌 栄	2 編 1
主の祈り	
交 読 文	詩編 16 (旧 P845) (聖書を1節ずつ交読します)
祈 禱	吉村朝雄牧師
讃 美 歌	2 編 194
聖 書	創世記 11:1～9 (旧 P13)
説 教	「バベルの塔」 吉村朝雄牧師
讃 美 歌	507
聖 餐 式	使徒信条 聖餐感謝の祈り 讃美歌 205(1,3)
献 金	547
頌 栄	540
祝 禱	
後 奏	

【本日の聖書】

創世記 11:1～9(旧 P13)

ヨハネによる福音書1:10～11(新 P163)

使徒言行録 2:5～11(新 P214)

コリントの信徒への手紙1:18(新 P300)

【報告】

●本日の【那須キリの声】～牧師室から～にサイクロンの異常発生がサバクトビバッタの大発生を産み、被害をもたらしていることが書かれています。サイクロンの発生と台風の発生は海水温上昇による異常気象が原因です。海水温上昇は二酸化炭素を大量排出する私たちの生活様式と直結しています。私たちの生活様式を見直さない限り、地球環境は崩壊の道をたどります。気づいたところから見直していくことを心がけませんか。

●「ひつじかい」は礼拝後、会堂内で行います。

●ライブ配信継続中。YouTube で公開しています。

●「やさしい聖書の話」(水)「聖書の夕べ」(木)は当分の間お休みします。

【次週の予告】

9/27 (日) 三位一体第 17 主日 「祝福の旅立ち」 創世記 11:27～12:9

讃美歌 2 篇 1. 507. 494. 540.

主の祈り

天にましますわれらの父よ
ねがわくは、み名をあげめさせたまえ。
み国を、きたらせたまえ。
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。
われらの日用のかてを、きょうもあたえたまえ。
われらに罪をおかすものを、われらがゆるすごとく、
われらの罪をもゆるしたまえ。
われらを、こころみにあわせず、悪よりすくいだしたまえ。
国とちからとさかえとは、かぎりなく、なんじのもの
なればなり。

アーメン

ようこそ那須キリスト教会へ！

〔はじめての方へ〕

- ・よくおいでくださいました。神様と共に喜んで歓迎いたします。
- ・聖書（新共同訳）、讃美歌をお持ちでない方は、教会備え付けのものをお使いください。
- ・礼拝順序など、との方の方に遠慮なくお聞きください。
- ・礼拝献金は感謝の“しるし”として献げるものです。額は自由です。受付にある封筒をご利用ください。
- ・ご相談のある方は牧師、担当の者が承ります。お声をかけてください。
- ・集会は下記の通りです。

★ 「礼拝」（日）午前 10：30～12：00

◎ 「やさしい聖書の話」と「聖書の夕べ」は、当分の間お休みいたします。

【那須キリの声】～牧師室から～ 「どこか遠い国の話なんかではない話」

旧約聖書にも出てくる「世界最古の害虫」と言われているサバクトビバッタの大発生が、アフリカだけでなく、中東、アジア、南米へと広がり大打撃を与えている。パキスタン北西部の野菜農家は、今年5月、サバクトビバッタの巨大な群に初めて遭遇し、身震いしたと言う。「黒い雨雲のように畑を覆い、収穫目のトマトを食い尽くされた」からだ。国際人道支援団体「CWS JAPAN」は「バッタ、コロナ、干ばつ」の三重苦で農家の収入が半減、貧困の長期化は避けられない、と語る。

サバクトビバッタの異常繁殖のきっかけは、2018年の5月と10月、アラビア半島の砂漠地帯を襲った2つのサイクロンにあると言われている。年2回の上陸は異例のことで、地面が産卵に適した湿った状態になり、一気に繁殖したのだ。サイクロン発生の原因は、インド洋の海水温上昇が周辺地域に異常気象を増やし、激化させたと指摘されている。

サバクトビバッタの被害のない日本人には、自分たちの生活には関係のない、どこか遠い国の可哀想なお話しぐらいにしか聞こえないだろう。しかし、「世界の食糧庫」と呼ばれるアルゼンチンやブラジルでバッタの被害が広がれば、たちまち小麦や大豆の供給にも影響が出てくる話なのだ。そうすると、たった一つのデマで、またしてもスーパーや食料品店の棚から小麦と大豆があつという間に消えてしまうことにならないだろうか。買い占めに走る前に、世界の気候変動に私たちの生活様式が大いに関係していることに気づいて、少しでも改める方向に持って行けないだろうか。